

災害対応力の向上に向けた取り組み

平成25年12月25日

NEXCO新潟管理事務所

あなたに、ベスト・ウェイ。



1. 災害に強い道路ネットワークの確保と災害対応力の向上(取組み事例)

NEXCO

耐震機能の強化

橋梁耐震補強対策

橋脚補強の実施



S54道路橋示方書以前を適用し建設した橋脚を対象
⇒対象橋脚については全て補強完了(新潟県内約690基)
※S54道路橋示方書以降の橋脚について今後の対応を検討中

大雨・台風など災害に強いのり面の確保

のり面排水設備の清掃・補修の実施



局的大雨・台風などの災害に備え、排水設備の清掃・補修を実施中

災害発生時における迅速な情報収集

無人飛行機等による広域画像情報の収集



- ・防災ヘリ等による広域画像情報収集
- ・災害時、確実に空撮設備等を調達するための協定を民間会社と締結⇒被災箇所の早期把握

1. 災害に強い道路ネットワークの確保と災害対応力の向上(今後予定)



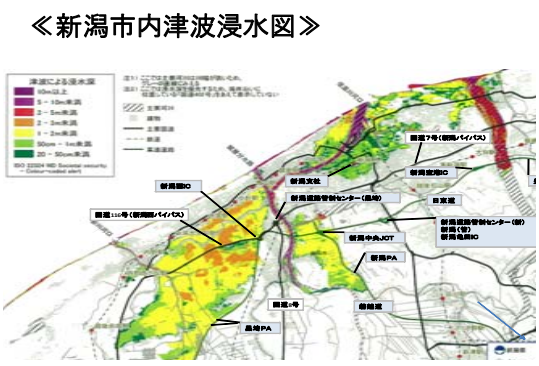
災害時の防災拠点の整備



休憩施設の防災拠点化・自家発電整備(予定)

- ・災害発生時に「お客さま」や「緊急車両」の中継基地化に向けた整備
⇒休憩施設における「防災拠点化」にあたり課題の抽出及び対応に予定について整理するとともに関係機関との調整を今後実施予定
- ・防災拠点として必要な設備についても検討予定(大型発電機、照明設備、指令室、部隊連絡所等)

津波対策強化によるお客様の安全確保



津波避難施設の整備(予定)

- 新潟県津波浸水域結果を踏まえ、「安全対策工」の検討を実施予定
- 【検討項目】
- ①本線通行車両への情報提供・誘導
 - ②休憩施設・料金所の安全対策
 - ③高速道路を活用した避難階段(今後、関係機関との協議が必要)



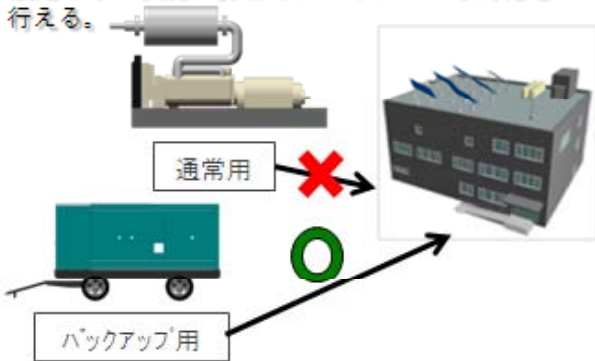
2. 危機管理・災害に強い次世代の道路管制センター(事例)

※施設・設備の老朽化、水害等の危機管理上の課題に対応

・過去の経験を生かし、通信・電源・耐震性能の強化と冗長性の向上

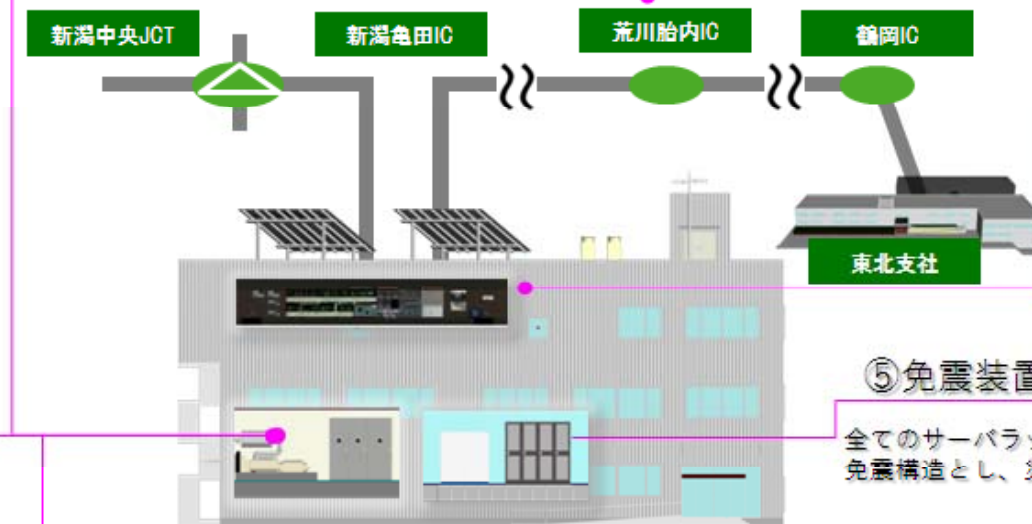
②バックアップ用発電機

自家発電設備自体のバックアップを構築。汎用性の高い移動用発電機にすることで管制設備に限定しない状況に併せたフレキシブルな対応を行える。



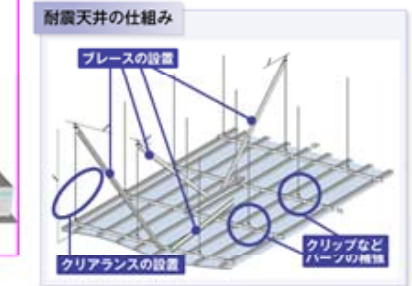
①通信ルートの広域バックアップ

新潟支社～東北支社の光通信ケーブルの広域バックアップルートを構築することで災害に強い通信を確保。



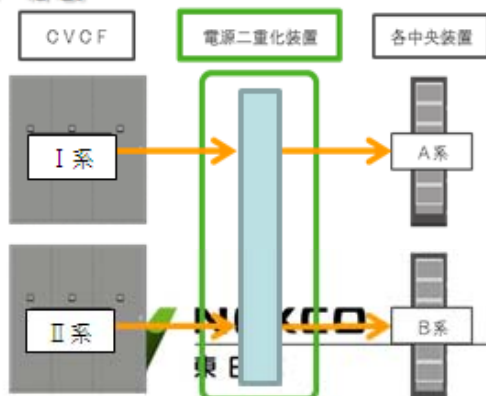
⑥耐震天井

鉛直方向に加え、プレースを設置することで水平方向への耐力を向上。



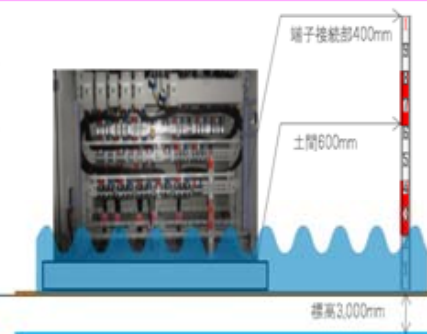
③サーバへの二重化給電

電源二重化装置が2系統のCVCF（無停電電源装置）からの給電を束ね、各サーバ機器の系統へ給電。



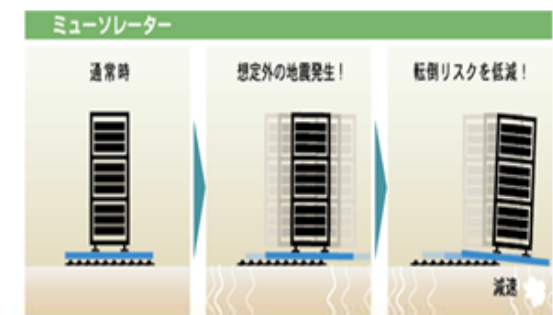
④配電盤内部への浸水対策

端子接続部を従来より上部に設置することで想定外の浸水に対する障害防止。



⑤免震装置

全てのサーバラックに対し、地震対策として免震構造とし、災害対応の強化。



新道路管制センター